



アートのじかん 2024年度活動報告



※とうきょうすくわくプログラム

双葉の園保育園

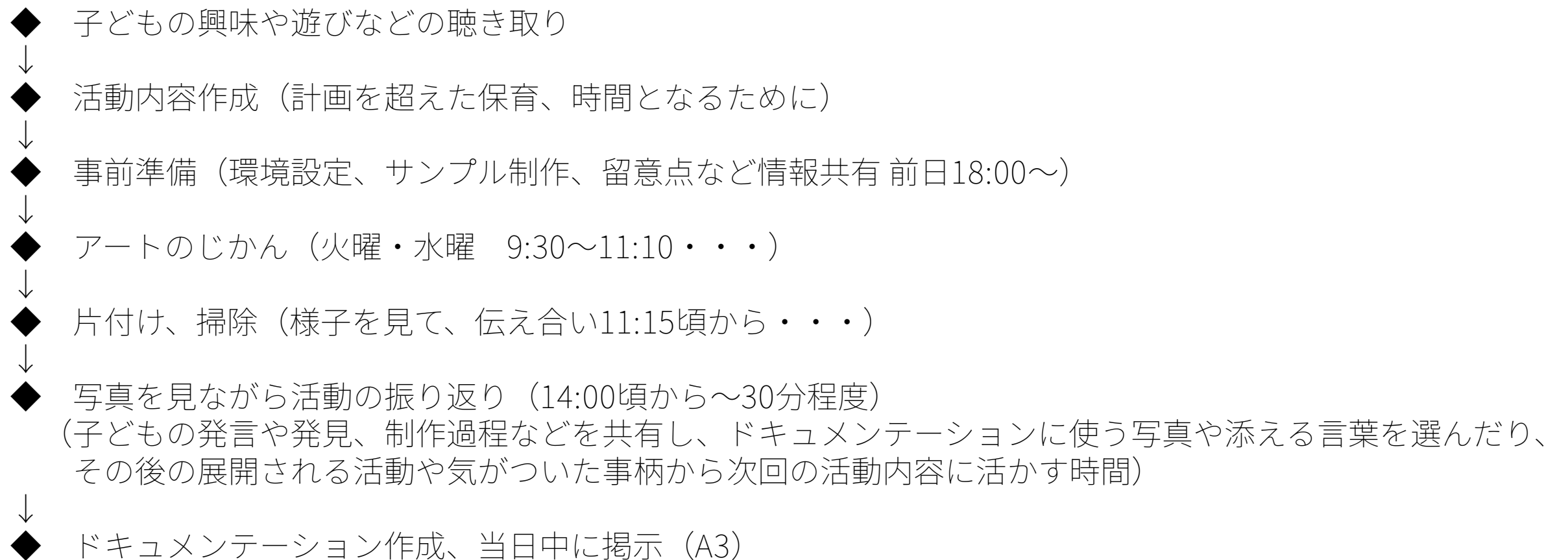
アートのじかんについて

- 普段の生活と同じように「アートのじかん」もまた、こどもが自分らしくいられることへの 肯定感を持てる、居心地のよい時間のひとつです。
- ・ こども自らが発見し、考え、試すことを繰り返しながら、思い思いに表現することを楽しむ時間。
 - ・ 様々な素材に触れて、感覚の幅を広げ、多様な表現方法を組み合わせて遊ぶ時間。
 - ・ 多様な表現を互いに共有し共感することで、他者を思いやり尊重することにつながっていく時間。
- 園庭やお部屋で過ごすことと同じように、こどもが『自ら選ぶ主体的な活動の場』となることを目指しています。

○活動時間

にじ組・ほし組(3歳児) 主に火曜日(月末に1回)
はな組(4歳児)は火曜日(月に3～4回)
ひかり組(5歳児)は毎週 水曜日

○活動内容



2024年度活動内容

月	4、5、6月	7、8、9月	10、11、12月	1、2、3月
テーマ	出会い（人・場・モノ）	発見（気づき）	想像・共感	共感・協働
活動の視点	出会いを楽しむ。様々な素材に触れ感触を楽しんだり、ものを作ったりすることを通して、自分の興味や関心に基づく遊びを遊びこむ。（3歳児） 様々な素材に触れたり、ものを作ったりすることを通して、自分の興味や関心に基づく遊びを遊び込む。また、身近な事象（空気や風、光、音など）に気持ちを向けて関わり、表現や活動に取り入れる。（4歳児・5歳児）	素材に触れながら、形や色、水、光、音などの事象の変化に気が付いたり、作ったものなどをきっかけとして友達と遊んだりする関わることを楽しむ。（3歳児） 素材や植物に触れ、様々な事象やその変化に気が付いたり、作ったものなどをきっかけとして友達と遊んだり関わることを楽しむ。また、自分の興味や関心のある活動を繰り返し行い、素材や道具を、自ら選んで用い、試し工夫することを通して表現する。（4歳児・5歳児）	様々な素材や道具に触れ、自然物との関わりを深めることを通して、行為的な遊びと意識的な遊びの双方を楽しむ。（3歳児） 日々の生活の中での体験を通して気がついたり発見したりしたこと、想像力を広げ表現し、またそれを他者に伝えること（互いの考えや行動を受け止め、認め合うこと、ゲーム性のある遊びやルールを共有する）を楽しむ。（4歳児・5歳児）	自分の作ったものやイメージ、感じたこと、思ったことを友達や保育者に伝えたり、遊び方を自分なりに工夫し一緒に遊ぶ楽しさを味わう。（3歳児） 意見を出し合ったり、イメージを共有し、共に描いたり作ったりして、それぞれの好きなこと得意なことを一緒に行う協働的な活動。相互に刺激し合い影響し合い、さらに自分なりに工夫し思い思いの時間を楽しむ。（4歳児・5歳児）
活動の内容	題材設定においては以下のいずれかの要因を含む (1)一人でじっくり向き合える素材。 (2)その素材それぞれの感触や面白さ、またその行為そのものを楽しむ内容。 (3)自分の場所であることの安心感を得られる題材。 ＊風や空気などを使った遊び（膨らませたり、飛ばしたり、吊るしてみたりするもの） ／紙を使った活動（たたむ、かくれる、かける、しく、のせる、やぶく、丸める、折る、立たせる） ／えのほん／コラージュ／絵の具を使った活動（フィンガーペインティング、出てきた線や形、その痕跡、デカルコマニー） ／藍の種まき ひかり組（5月）	題材設定においては以下のいずれかの要因を含む (1)素材の使い方を子ども自らが考え発見する。 (2)他の遊びに展開していくような、相互作用のきっかけとなる題材。 （切る、貼る、組み合わせる） (3)開放的な空間を使ったダイナミックな活動につながるような素材や題材。 ＊水遊びと連動した活動（水の上に浮かばせる、せっけん削り、泡作り、色水作り、ぶるぶる） おままごとの材料作り（色画用紙や折り紙、カラーセロハン紙、毛糸、リボンを細かく切る） ／スタンピング／ひかりにかざす／トイレットペーパー粘土／あなをあけたりつなげたり／いろのあわのドロイング／植物の色水作り／藍のたたき染め（9月）	題材設定においては以下のいずれかの要因を含む (1)自然の形、偶然できた形から見立てる。 (2)他の遊びに展開していくような材料を作る。 （切る、貼る、積み重ねる、組み合わせる） (3)何かを作ったり、ごっこ遊びに発展したり友達と組み合わせたりして様々な遊び方のできる題材。 (4)各クラスのだいちの会やふたば祭と連動する素材や題材。 ＊秋の造形活動（保育園内やお散歩で見つけた、落ち葉やどんぐり、小石、羽、小枝などを使って組み合わせた立体工作／壁飾りやリース） 素材の装飾／葉っぱのラミネート／ふわふわのものや毛糸をつかって／えのほん／リサイクル素材の立体工作	題材設定においては以下のいずれかの要因を含む (1)通常に比べて、扱う素材の大きさや量が必要となる内容。 (2)多くのアイデアや発想が必要となる内容で、子どもの興味を持っているテーマから、対話を通して作る遊び。作ったものを使った遊びへの展開→制作→ごっこ遊び→制作など (3)自ら考えた遊びのルールを共有し、さらに新しい遊びを作り出していくような活動。 (4)おたのしみ会と連動する素材や題材。 ＊まわるもようDVDコマ／うごかしてあそぼう ひかりとかげ／かげをつかってあそぼう／おおきなえ・おおきなかみをつかってみよう／ながいかみをつかって／すなやつちであそぼう リサイクル素材の立体工作／ねんどをやいてみよう（焚き火）かなづちでとんとん（木材の工作）
使用する材料や道具	ポリ袋、新聞紙、紙粘土、トイレットペーパー 小さな紙、大きな紙、ダンボール、ストロー、紙コップ、紙皿、木製マドラー クレヨン、絵の具、筆、パレット、油性ペンやボスカなどのペン類、ハサミ、セロハンテープ、でんぷんのり、ホチキス、ビニールテープ、紙テープ、丸シール スズランテープなど	色画用紙、折り紙、カラーセロハン紙、包装紙、プラスチック段ボール、お花紙、和紙、トイレットペーパー、リボン、モール、発泡トレイ、牛乳パック、ペットボトル、石鹸、シャボン液、絵の具、食紅、寒天、洗濯のり、油性ペンやボスカなどのペン類、はさみ、ホチキス、ボンド、でんぷんのり、穴あけパンチ、穴あけピン、割ピン、クリップ、筆、パレット、 身の回りにある道具やリサイクル素材など（水遊びやスタンピングなどでも使用） 葉っぱ、金槌、懐中電灯	保育園の園庭やお散歩で見つけた自然素材（落ち葉や枝、木の実、小石、砂、藍の葉など） 板や角材などの木材、釘、金槌 身の回りにあるリサイクル素材（空き箱、ヨーグルトやゼリーなどの空き容器、ペットボトル、ペットボトルキャップ、トイレットペーパー芯、ラップ芯、発泡トレイ、段ボール、包装紙、広告などのチラシ、緩衝材、梱包材）など ラミネートフィルム、不織布、裁縫針、フェルト、布、毛糸、リボン、モール、カラータイ、ビニールテープ、ボンドなど	身の回りにある道具やリサイクル素材（空き箱、食品容器、透明容器、ペットボトル、ペットボトルキャップ、トイレットペーパー芯、ラップ芯、発泡トレイ、段ボール、包装紙、広告などのチラシ、緩衝材など） 布、フェルト、毛糸、リボン、モール、カラータイ、スズランテープ、クリップ、割りピン、針金、ストロー、紙皿、紙コップ、ビニールテープ、ガムテープ、杉板、金槌、釘、 模造紙、障子紙、画用紙、厚紙、巻段ボール、色画用紙、折り紙、カラーセロハン紙、絵の具、油性ペン、水性ペン、はさみ、ホチキス、ボンド、のり、砂、土、炭、土粘土、紙粘土など

活動の様子（こどもたちの様子と保育者の気づき）

8/27 いろみずをつかって（年中クラス）

ねらい これまでも泡や色水を作ったり、お店屋さんなどのごっこ遊びをしている様子のあったことなどを踏まえ、色水（染め液）を白い羊毛毛糸にふりかけてみる活動を考えた。ぬらした毛糸の感触を楽しんだり、スプーンやスポイトを使って色水を垂らしたり、液の中に入れてプクプク空気を出してたり、水鉄砲のようにしたり、色水を少しずつ混ぜたり、水で薄めたりして色の実験をしたり・・・食紅で作った色水ならではの透明感や、手応えのあるものとしての毛糸から何かに見立てたり、ごっこ遊びへの発展も考えられる。お水遊びの様々な道具を使って、自分のやりたい表現を繰り返し試す時間となることを期待した。

気づき 赤、青、黄の3色をまぜるといろんないろができることを発見することで、驚いたり、何色になるか実験してみようと思ったり、こどもたちの興味がどんどんわいてくるのが手に取るように感じられた。絵の具とは違って食紅ならではの透明感があり、そこからイメージが膨らんでいく子もいて、ごっこ遊びのアイデアに発展していった。色を入れる量や染める時間によっても、いろんな色ができることで、興味がひろがった。



当日の掲示